

# 論座

朝日新聞社

2006 April 4

民主党の前原誠司、野田佳彦氏もOB

## 松下政経塾の全貌

全出身国会議員に聞く  
辛酸なめ子 入塾体験記

緊急特集

## 女性たちの皇室論

河瀬直美 / 香山リカ / 瀬戸内寂聴 / 高樹のぶ子 / 唯峻淑子  
荷宮和子 / 信田さよ子 / 羽田澄子 / 山田美保子 / 吉武輝子 / 蓮舫

## 構造改革叩きを啜う

吉崎達彦 / 富山和彦 / 大竹文雄 / 平松朝彦

## 書評欄拡充 一挙30ページ

書評は「愛」と「闘いだ」 | 高橋源一郎 × 豊崎由美 × 三浦雅士

## 新世代の論客たち 第2弾

日本外交 / フェミニズム / 若者 / 不登校 / 情報社会 / 景観 / スポーツ

マルチチュードとは何か? | 姜尚中ほか

FOREIGN AFFAIRS 提携



# 役立っていること

「松下政経塾で学んだことで、  
最も役に立ったと思うことは何ですか」

 <b>逢沢一郎</b> 自民党	(1)	よりよい日本と世界のために貢献する人材を育てるという幸之助さんの理念に共感し入塾した。政経塾の建塾の精神をしっかりと踏まえて日々政治活動をしている。
 <b>野田佳彦</b> 民主党	(1)	幸之助さんと直に接し、すごさを感じられたこと。「五誓」にある「成功の要諦は、成功するまで続けるところにある」という言葉を今もしみじみ思い出すことがある。
 <b>長浜博行</b> 民主党	(2)	すべて。政経塾は私の原点。
 <b>松原 仁</b> 民主党	(2)	「成功の要諦は、成功するまで続けるところにある」等の「五誓」は、浮き沈みの激しい政界にあって、心の支え、日常の指針になっている。
 <b>笹木 竜三</b> 民主党	(3)	幸之助さんから直接話を聞く機会に恵まれ、自分の夢に対して傾けるエネルギーと執着心の強さを学んだ。
 <b>鈴木 淳司</b> 自民党	(3)	当代一流の人たちと接する機会を得られたこと。100キロ歩行や雪中耐寒耐乏訓練などの名物行事も、実際にやってみると色々なことが見えてきて大いに勉強になった。
 <b>原口一博</b> 民主党	(4)	政経塾は志の塾。学問やスキルではなく「will」、つまり変革する意志、志を学んだ。
 <b>三谷 光男</b> 民主党	(4)	100キロ行軍。一步一步でも目的に向かって意地を張り続ければ到達するということを学んだ。
 <b>伊藤 達也</b> 自民党	(5)	幸之助塾主のさまざまな教え。特に国家経営を担おうとするものが1円の税金の重みを知れ、ということ。
 <b>高市 早苗</b> 自民党	(5)	「政治は国家経営である」という松下塾主の教え。「日本国株式会社の株主代表として株主総会たる国会で働く」という意識や、常に国家経営理念を探求する姿勢に驚かされている。
 <b>武正 公一</b> 民主党	(5)	政治を正さなければ日本は良くならないという松下幸之助の思いを引き継いでいるという自負が、政治家としての自分の背骨になっている。
 <b>前田 雄吉</b> 民主党	(5)	販売の現場研修で、街の電器店に入って乾電池売りをやったこと。この社会にはいろんな人がいるということを教えられた。
 <b>河井 克行</b> 自民党	(6)	政経塾に入っていなければ、政治の世界に飛び込むこともなかった。私にとっては原点であり、黒箱。
 <b>赤池 誠章</b> 自民党	(7)	自修自得と現地現場主義。自らが課題を求め、それをどうクリアしていくかを考えるという教育をされたので、それは政治家となった今でも役立っている。

# 出身国会議員にきく

( ) 内は入塾期

	<b>神風英男</b> 民主党	(7)	現地現場主義。全国の大規模稲作経営者を回って、昼間は一緒に農作業をし、夜は酒を飲みながら話をした。国会議員になってからもその経験が役に立った。
	<b>山井和則</b> 民主党	(7)	幸之助さんは車椅子に乗って出ない声を振り絞りながら「政治を変えないと世の中良くならない」と切々とおっしゃっていた。それが自分の原点になっている。
	<b>玄葉光一郎</b> 民主党	(8)	伝記作家の小島直記先生の講義が1か月に1度あり、歴史や歴史上の人物の生きざまについて教わったことが非常に勉強になった。
	<b>前原誠司</b> 民主党	(8)	幸之助さんの思いは「国会議員は国家経営者たれ」ということ。その教えを常に頭に入れて政治活動をしている。
	<b>秋葉賢也</b> 自民党	(9)	現地現場主義の重要性。高齢者福祉や都市開発の現場に入り、生の声や姿から非常に多くのことを学んだ。
	<b>市村浩一郎</b> 民主党	(9)	幸之助さんの「政治を正さなければいけない」という設立の思いを今も重く受け止めている。
	<b>松野博一</b> 自民党	(9)	入塾試験の面接で運と愛敬のある人間を選んだそうだから、何があっても「自分は運がいいんだ。大丈夫だ」と前向きになることができる。
	<b>小林 温</b> 自民党、参議院議員	(10)	幸之助さんは政治とは国家経営だと言われた。そのことが本当に大事だと実感する。
	<b>坂井 学</b> 自民党	(10)	形而上的な世界に意識を持つようになったこと。俗に言う神様や宗教心といった、通常目に見えないものを意識できるようになった。
	<b>小野寺五典</b> 自民党	(11)	万事研修、つまり世の中で起きているいろんなことが日々の研鑽に繋がるという言葉は今も重く受け止めている。
	<b>福山哲郎</b> 民主党、参議院議員	(11)	上場企業の社員を辞めて入塾し、普通の人はモノが見えていたと聞いていたが、それぞれの現場に様々な課題があることを知り、自分の未熟さ、世間の深さを実感した。
	<b>山本朋広</b> 自民党	(21)	自民党の部会は朝が早い、政経塾時代の早朝研修に比べればまだ楽かなと思える。また、米国で1年間研修し、外交の基礎を学ぶことができた。
	<b>松本大輔</b> 民主党	(22)	現地現場主義。国会議員になっても、法案審議の際はできるだけ現場を見るよう心がけている。
	<b>三日月大造</b> 民主党	(23)	①剣道、茶道、書道などに親しみ、この国はいいものを持っていると実感した②教育現場での3カ月間の体験実習③掃除や挨拶などの大切さを改めて実感した。



小野晋也



川桑志嘉

……取材拒否

# 愛国心

「教育基本法に『愛国心』を盛り込もうという議論がありますが、どう思いますか」

	<b>逢沢一郎</b> 自民党	(1)	明記することはいいこと。愛国心とは国を受する、国民を非常に大切にするという素直でまっすぐな気持ち。
	<b>野田佳彦</b> 民主党	(1)	戦後教育の抜本的な改革は必要だという立場。愛国心とは、「公」に対して関心をもって何かをやろうとするその心の延長線上にあると思っている。
	<b>長浜博行</b> 民主党	(2)	愛国心を書き込まなければならぬほど、愛国心のない悪い国になってしまったということを感じている。
	<b>松原 仁</b> 民主党	(2)	当然入れるべき。国際社会の中でこそ愛国心は必要。
	<b>菅木 竜三</b> 民主党	(3)	愛国心という言葉を入れてもいいとは思いますが、入れたからといって愛国心は高まらないだろう。憲法も教育基本法も時代に合ったものに変えていくべきだと思う。
	<b>鈴木 淳司</b> 自民党	(3)	文章にするしなやかかわらず、国を受するのは当たり前なこと、教育基本法に盛り込めればそれでよいということでは全くない。
	<b>原口一博</b> 民主党	(4)	愛国というのは排斥ではない。しかし現状は、排外主義者のような人たちが愛国を唱えている。今の内閣はその基本的な区別ができないから、盛り込むことは反対。
	<b>三谷 光男</b> 民主党	(4)	「愛国心」という表現は疑問。しかし、人間が当然持つべき父母や地域、国を受する気持ちをもつことを、教育基本法に盛り込むことは良いことだ。
	<b>伊藤 達也</b> 自民党	(5)	国を受することは非常に大切なこと。国を受するというのは家庭を受し隣人を受するという延長にあり、その気持ちがあれば、人を傷つけたり戦争を起こしたりしない。
	<b>高市 早苗</b> 自民党	(5)	「自国への愛情」を表現する文言は入れたい。日本の国土や風土・文化への誇りと愛着、国の発展を支えた先人への感謝の念が、良き公民意識を育てることになると思うから。
	<b>武正 公一</b> 民主党	(5)	基本的には賛成。教育再建の一環として、国家への考え方を示すという意味で必要だ。ただ教育改革議論全体の中に含まれるべき問題で、突出するのはどうかと思う。
	<b>前田 雄吉</b> 民主党	(5)	盛り込むべき。自分の国は原点。自分の国、自分の家族を愛せない人間が、他人を思いやる心を持てるかといったらそうではないだろう。
	<b>河井 克行</b> 自民党	(6)	賛成。自分の国を受することはふるさと、家族を受することであり、そのような気持ちを幼いころから養うことは大事だ。
	<b>赤池 誠章</b> 自民党	(7)	賛成。愛国心は民主国家の基盤。国と国民が一体となるのが民主国家の理想の姿だと思う。

# 出身国会議員にきく

( )内は入塾期

 <b>神風英男</b> 民主党	(7)	愛国心はあって当然だと思うし、教育基本法にも入れた方がいいと思うが、入れなければいけないほど愛国心がないのかと思うと寂しい。
 <b>山井和則</b> 民主党	(7)	国を愛する心は持つべきだと思うが、今この時期に、あえて法律に盛り込むことについては慎重に議論すべき。
 <b>玄葉光一郎</b> 民主党	(8)	愛国心をどう定義するかによって違ってくるので、まずは議論が必要。公共心・健全な愛国心の醸成は大事だが、それを教育基本法に書き込むべきかは議論が必要。
 <b>前原誠司</b> 民主党	(8)	人を愛する心、「愛人心」が愛国心につながってくる。国を愛せと大上段に構えるのではなく、人を思いやる心を教育の中で根本に位置づけることが大事。
 <b>秋葉賢也</b> 自民党	(9)	賛成や反対は短絡的には言えないが、時代の変化に応じてルールを見直していくのは当然だ。
 <b>市村浩一郎</b> 民主党	(9)	自分は誰よりも日本を愛している一人だと思っているが、愛国心というものは書いたから出てくるものではなく、醸し出されるものだ。あえて基本法に書く必要はない。
 <b>松野博一</b> 自民党	(9)	文言はともかく、概念を盛り込むことには賛成。個人の権利を担保しているのは国家としての制度であり、国家に敬意を表するのは当然だ。
 <b>小林 温</b> 自民党、参議院議員	(10)	もちろん賛成。教育の中でもわが国がどういう歴史を持った国でどういう成り立ちかを学べば、自然と国に対する愛情も生まれてくると思う。
 <b>坂井 学</b> 自民党	(10)	国を愛する気持ちを大切にすることは大事なことで、国家国民の意識がない国では成り立っていかない。
 <b>小野寺五典</b> 自民党	(11)	戦前教育における「国」というイメージではなく、歴史、伝統、文化、それらを全部含めた日本国を愛する気持ちを基本法に入れるのは当たり前のことだと思う。
 <b>福山哲郎</b> 民主党、参議院議員	(11)	あまり意味のない議論だ。「愛国心」は上から押しつけられるものではない。子どもたちが日本のよき文化・伝統にもっと接し、造詣を深める機会をつくる方が効果的だと思う。
 <b>山本朋広</b> 自民党	(21)	愛国心にするのか国を愛する心にするのかはともかく、おおよそ悪いことではない。そういう気持ちをどう表現するのか、前向きに議論していきたい。
 <b>松本大輔</b> 民主党	(22)	公共心の涵養は重要だが、法律で強制するというのは少し違う気がする。法律を変える前に、愛さずにはられないような日本をつくることを目指すべきだ。
 <b>三日月大造</b> 民主党	(23)	基本法改正よりも先にやるべきことがあると思う。愛国心とは個人愛であり、自己愛の延長だと思う。



小野晋也



川条志高

……取材拒否

# 皇室典範改正

「皇室典範の改正についてどう思いますか」

	<b>逢沢一郎</b> 自民党	(1)	有識者会議の報告書の方向をベースにしながら、もっと深く学んだ上で政治家として自分の立場を明らかにしたい。
	<b>野田佳彦</b> 民主党	(1)	個人的な意見はあるが、今言えることは、拙速に決めることではないということ。慎重にやるべきだ。
	<b>長浜博行</b> 民主党	(2)	男女平等とか血が途絶えてはいけないとかいう短絡な議論ではなく、なぜ天皇制が存在しているのかという議論から始めるべき。早急に結論が出せる問題ではない。
	<b>松原 仁</b> 民主党	(2)	男系は皇室の伝統的要素であり、大事にしたい。
	<b>笹木竜三</b> 民主党	(3)	有識者会議の人選には疑問があるし、もっと時間をかけて議論すべきだと思うが、改正は天皇制を維持するなら避けられない。女性、女系を含めて議論を始めるべき。
	<b>鈴木淳司</b> 自民党	(3)	安定的な皇位継承のために、皇室典範の見直し議論を進めることは意義があるが、国体の根幹にかかわる問題だけに拙速を避け、慎重な議論が必要である。
	<b>原口一博</b> 民主党	(4)	女性天皇は認めるべきだと思っているし、民主党はマニフェストにも掲げている。しかし女系天皇も認めるべきかどうかについては慎重に議論すべきだと思う。
	<b>三谷光男</b> 民主党	(4)	慎重に時間をかけて行うべき。私個人は、女性天皇は問題ないと思うが、女系天皇については時間をかけて、十分な議論をすべきと思う。
	<b>伊藤達也</b> 自民党	(5)	男女平等という現憲法の精神がある一方で、皇室は現在のような形で多くの国民に支持されている。今後の皇室のあり方について様々な角度から議論することが大切だ。
	<b>高市早苗</b> 自民党	(5)	125代続いた「男系継承による万世一系」の伝統も皇室の権威の前提だったと考えるため、女性天皇には反対しないが、「女系」「長子優先」については慎重に検討すべきだ。
	<b>武正公一</b> 民主党	(5)	慎重な対応を求める。男系は維持すべきだ。
	<b>前田雄吉</b> 民主党	(5)	性急に突えるべきではない。女系、女性天皇とは何かや、現在の問題点を広く国民に理解してもらい、その上で国民世論を汲み取りながら国会や有識者の間で議論すべきと考える。
	<b>河井克行</b> 自民党	(6)	もう少し細かいところを勉強したい。
	<b>赤池誠章</b> 自民党	(7)	直系主義にしたなら、皇統を私物化することなく、自分の子に男子がいなければ皇統を一度先祖にお返しするというすばらしい日本の精神が損なわれる。慎重に審議すべきだ。

# 出身国会議員にきく

( )内は入塾期

	<b>神風英男</b> 民主党	(7)	男系は守るべき。神話の時代も含めて、日本の皇室は一貫して男系によって続いてきた。有識者会議の報告書からは歴史観や国家観がまったく感じられない。
	<b>山井和則</b> 民主党	(7)	女性天皇も、女系天皇も認めるべき。
	<b>玄葉光一郎</b> 民主党	(8)	じっくり国民のみなさんにも議論してもらう時間があつた方がいい。
	<b>前原誠司</b> 民主党	(8)	当初は男系を維持できないか考えたが、側室制度がない中では難しい。また、現実法では男女平等の理念を掲げており、女性天皇、女系天皇を認めざるを得ないと思う。
	<b>秋葉賢也</b> 自民党	(9)	急ぐ必要はない。わが国の歴史を踏まえて慎重に議論すべきだ。
	<b>市村浩一郎</b> 民主党	(9)	女系については議論すべきだと思う。男系で2千年続いたというのが天皇家の「物語＝ヒストリー」ならば、そのヒストリーは大事にしなければいけない。
	<b>松野博一</b> 自民党	(9)	もう少し国民議論の成熟を待った方がいい。皇室は憲法の中でも特例としてあるので、男女同権論などが直接に適用される性質のものではない。
	<b>小林 温</b> 自民党、参議院議員	(10)	議論はもっと慎重に積み重ねるべきだ。ただ現実的には、男子の皇位継承者が見あたらないので、ある程度の時期には結論を出す必要がある。
	<b>坂井 学</b> 自民党	(10)	男系維持に向けて最大限の努力を続けるべき。万策尽きたという結論が出た時には女系も考慮に入れなければならないが、まだその時期ではないと思う。
	<b>小野寺五典</b> 自民党	(11)	慎重な議論が必要である。国民がこの問題に関して十分に認識した上で方向を見いだすべき。
	<b>福山哲郎</b> 民主党、参議院議員	(11)	女性天皇にはまったく抵抗ないが、女系まで認めるのかについてはまだ議論が必要だ。有識者会議の出した結論だけで、先人が積み上げてきた歴史を変えるのは乱暴だ。
	<b>山本朋広</b> 自民党	(21)	女性天皇は問題ないと思うが、女系は歴史上存在したことがないので、みんなとまどっていると思う。もっとゆっくり時間をかけて議論すべきではないか。
	<b>松本大輔</b> 民主党	(22)	2千年来の秩序を変えるからには、立法事実が必要。皇太子夫妻はまだ子どもを持てる年齢でもあり、少なくとも今国会で変える必要はない。
	<b>三日月大造</b> 民主党	(23)	過去の経緯をさかのぼって勉強中。慎重に深い議論をする必要があると思う。



小野 賢也



川条 志嘉

……取材拒否

# 日本の誇り

「日本あるいは日本人の誇りとは何だと思いますか」

	<b>逢沢一郎</b> 自民党	(1)	人類の繁栄と幸福に貢献している日本の姿そのもの。2年間外務副大臣をやって世界の指導者と接すると、日本に対する強い期待を感じる。
	<b>野田佳彦</b> 民主党	(1)	この国に生まれてよかったと実感でき、この国で子どもを産みたいと思える国。生まれてよかったという思いの延長線上に誇りが生まれると思う。
	<b>長浜博行</b> 民主党	(2)	为什么呢。あまり考えたことがない。この国に生まれ育って仕事をさせてもらっているという感謝のみ。
	<b>松原 仁</b> 民主党	(2)	伊勢神宮の式年遷宮にみられるように、日本の文化の神髄にはハードではなくソフトを重視する精神性がある。それは日本が世界に誇るべき独特のものだろう。
	<b>笹木竜三</b> 民主党	(3)	幕末、金力や社会的地位のない志士が頑張り歴史に名を残したこと。また、占領軍に与えられた枠組みではあるが、平和国家で軍備によらず国を豊かにし、成功をおさめたこと。
	<b>鈴木淳司</b> 自民党	(3)	西歐的な対立概念ではなく、仏教でいうところの「大調和」の思想を持っていること。この混沌とした時代の中では非常に重要な意味を持つと思う。
	<b>原口一博</b> 民主党	(4)	これまで培ってきた文化と世界の平和に対する貢献。
	<b>三谷光男</b> 民主党	(4)	他の先進諸国のように法律で定めなければ社会が成り立たないというのではなく、「和」の心が自然に備わり、「醸し出す」ことや契約できちんと社会が成り立っていくところ。
	<b>伊藤達也</b> 自民党	(5)	日本の歴史であり伝統であり文化。四季折々の風土の中で培われてきたものがしっかりあると思う。
	<b>高市早苗</b> 自民党	(5)	自然に対する畏怖と感謝の念からなる伝統・文化を築いてきたこと。加えて、従来、日本人の美德とされた「勤勉」「公德心」「長幼の序」「相手を慮る心」「恥の心」等の価値。
	<b>武正公一</b> 民主党	(5)	勤勉性。さまざまな価値観を足して、つくりかえることができるところ。
	<b>前田雄吉</b> 民主党	(5)	営々と培ってきた文化。島国であるがゆえに家族を大事にできたこと。
	<b>河井克行</b> 自民党	(6)	日本人そのもの。先の大戦後1人の国民も戦場で死んでいない。敗戦後の焦土から世界第2位の経済力を獲得した。日本は世界で一番すばらしい国だ。
	<b>赤池誠章</b> 自民党	(7)	世界最長最古の統一国家であること。紛争をうまく解決する知恵＝和の精神が日本の伝統の中にあり、それは世界の模範たりうる。



# 出身国会議員にきく

( ) 内は入塾期

	<b>神風英男</b> 民主党	(7)	敗戦から立ち直った技術や能力は誇りだが、現状では誇りにできるものが少なくなっていると思う。
	<b>山井和則</b> 民主党	(7)	平和を愛する、二度と不幸な戦争をしないという思いはどの国よりも強いのではないか。もうひとつは少なくともこれまでは、比較的格差の少ない社会だったということ。
	<b>玄葉光一郎</b> 民主党	(8)	「誇り」であるかは別にして、例えば先手が器用だとか、勤勉だとか、感性豊かで礼儀正しいとか、日本人のDNAに連続と受け継がれているものがあると思う。
	<b>前原誠司</b> 民主党	(8)	人を思いやる心や向上心を持っていること。また、これだけ四季を感じられる国は珍しく、だからこそ自然への畏怖、畏敬の念を持っている。それも誇りだ。
	<b>秋葉賢也</b> 自民党	(9)	伝統的に培われてきたコミュニティにおける互助精神だが、近年それが希薄化しつつあることは残念に思う。
	<b>市村浩一郎</b> 民主党	(9)	日本は文化の増場であり、大変な遺産が残されていると思う。また、平和を愛する、争いを好まないのは日本の価値。世界に広めていくべきだ。
	<b>松野博一</b> 自民党	(9)	母国語、歴史、風土、美しい国土。
	<b>小林 温</b> 自民党、参議院議員	(10)	資源がないのに勤勉さと能力をもって世界有数の経済大国をつくりあげてきたこと。日本独自の文化も融合しながら独自の経済スタイルを作り上げてきたこと。
	<b>坂井 学</b> 自民党	(10)	精神性。西洋は分析を重ねて結論を出す。東洋の考え方は分析ではなく統合、つまり経験値で結論を出す。そういった東洋の価値が今後重要になってくる。
	<b>小野寺五典</b> 自民党	(11)	ほとんどのことを誇っていい。他の先進国と比べると、家族という体制をしっかりと維持しているし、治安もまだ良い。社会が信頼感でつながっている。
	<b>福山哲郎</b> 民主党、参議院議員	(11)	京都で季節の折々の行事に接すると、その瞬間瞬間が誇りであり、日本を感じる。先人が努力して残してくれたものを感じられるだけで、日本人で良かったと思う。
	<b>山本朋広</b> 自民党	(21)	戦後60年間戦争をしなかったこと。これだけの国力を持っていながら半世紀以上も戦争をしなかった先進国はどの時代にもない。平和国家日本は世界に冠たるものだ。
	<b>松本大輔</b> 民主党	(22)	和の国であるということ。共生の思想が古代からあり、自然を畏れ、隣人、他の国とともに生きてきた。もうひとつは武士道精神。真実、誠意、まごころを尊ぶ気風。
	<b>三日月大造</b> 民主党	(23)	歴史と自然。



小野晋也



川条志嘉

……取材拒否

# 目指すべき国家像

「日本が今後目指すべき国家像、あるいは描くべき国家戦略について考えをお聞かせください」

	<b>逢沢一郎</b> 自民党	(1)	常に平和であり、繁栄し豊かで、国民が自由闊達な国。科学技術の進展を支える人材を育て、世界の学術拠点となる、知的財産立国を目指したい。
	<b>野田佳彦</b> 民主党	(1)	外の評価からすると品格のある国。内政的には誇りを持てる国。昨今は粉飾や誤合が横行しているが、そういうことが起こらないような自製のきいた社会。
	<b>長浜博行</b> 民主党	(2)	これ以上地球を傷つけないように国家を運営する。その先頭に立たなければならない。経済発展のみに執着するのではなく、環境を重視する国づくりをしていくべきだと思う。
	<b>松原 仁</b> 民主党	(2)	世界の中で日本にふさわしい立場と役割と誇りを持つこと。
	<b>笹木竜三</b> 民主党	(3)	日米同盟は大事だが、やはりアジアの中で信頼される国になること。また、紛争解決の手段として他国を侵略しないという原則は今後も持ち続けるべきだ。
	<b>鈴木淳司</b> 自民党	(3)	「徳望国家」でないと日本の永続的繁栄はあり得ない。対立概念で相手と対峙するのではなく、共存・共栄し、新たな普遍的秩序を構築する「大調和」のさきがけとなるべきだ。
	<b>原口一博</b> 民主党	(4)	今後300年ぐらいで民族や宗教を超えた連帯をつくりたい。環境的平和、心理的平和、社会的平和＝戦争の極小化の実現に向けて、日本は主導的立場をとるべきだ。
	<b>三谷光男</b> 民主党	(4)	いかに和の心を大事にするとはいえ、国家戦略を持ち、国益にかかるとは外に向けてははっきりと主張する国になることは必要。それがまた誇りにもつながってくる。
	<b>伊藤達也</b> 自民党	(5)	自己実現ができる国。日本というのは世界で最も自己実現ができる国なんだと思われるような国を目指したい。
	<b>高市早苗</b> 自民党	(5)	「瀬とした国」。国家の最大の役割は、その構成要件である国民・国土・主権を守り抜くこと。国家がこの役割を的確に毅然と果たせる法制度を構築したい。
	<b>武正公一</b> 民主党	(5)	日米同盟を基本に多角的外交にも力を入れ、孤立主義に陥らないよう気をつける必要がある。また、自分の国は自分で守るという独立国として当然の道を歩むべきだ。
	<b>前田雄吉</b> 民主党	(5)	もっと積極的に国際貢献をするべきだ。戦争と飢饉に苦しむ最貧国の子どもたちが最低限の教育を受けられるようにする。日本は世界を救う海援隊になるべきだと思う。
	<b>河井克行</b> 自民党	(6)	今の平和と繁栄をいかに後世に引き継ぐか。これまで日本が歩んできた方向性は間違っていない。あとはいかに国際競争力を磨くかにかかっている。
	<b>赤池誠章</b> 自民党	(7)	世界に貢献する環境立国。

# 出身国会議員にきく

( ) 内は入塾期

	<b>神風英男</b> 民主党	(7)	尊敬される国でありたい。かつては国家の品格、凛とした姿勢があったが、戦後は拝金主義が進んでしまった。それを変えていくことが必要だ。
	<b>山井和則</b> 民主党	(7)	平和を愛し、一人ひとりの人間を大切にす国。人間の命を大切にしているということで世界から信頼、尊敬される国にしたい。
	<b>玄葉光一郎</b> 民主党	(8)	キレだけでなくココも併せ持つ、深みと味わいのある懐の深い社会。苛烈な競争主義でなく均衡ある市場主義。外交面でも包容力としたたかな戦略をもった懐の深い国家であるべきだ。
	<b>前原誠司</b> 民主党	(8)	尊厳ある国家。ヒューマンリソースが最大限に生かされている国。機会が与えられ、その機会をみんなが活かせる環境にあって、一人ひとりが努力をする国。
	<b>秋葉賢也</b> 自民党	(9)	質実国家を目指すべきだ。生活の質の向上や真の豊かさとは何かを根本的に問い直していく必要がある。対外的にはもっと顔の見える主体的な外交が不可欠だ。
	<b>市村浩一郎</b> 民主党	(9)	江戸時代は教育も消防も今でいうNPOが担っていたが、いつしか官に全てを明け渡してしまった。今後はもう一度、NPOやNGOが活躍する社会に戻さなければならない。
	<b>松野博一</b> 自民党	(9)	国際貢献の分野では、安全保障において日本も責任を果たしていくべきだが、それよりも経済支援や人道復興支援、環境保全といった面で日本が果たせる役割は大きいと思う。
	<b>小林 温</b> 自民党、参議院議員	(10)	人材と能力を生かして付加価値の高い経済発展を実現し、いかに少子高齢化を乗り切っていくのか。世界に前例のないモデルを日本が提示していくことだと思う。
	<b>坂井 学</b> 自民党	(10)	「村八分」や「寄り合い」という制度は、地域の自治をスムーズにし、衆知を集めるすばらしい制度であり、世界平和を考えた時にそれら日本的な知恵は重要になると思う。
	<b>小野寺五典</b> 自民党	(11)	日本型の社会、福祉制度を世界に発信すべき。国民の知恵と工夫で常に前に進む生き方を広め、世界中が日本と同様の国づくりをすれば、世界平和、環境問題にも光明が見える。
	<b>福山哲郎</b> 民主党、参議院議員	(11)	陳腐な表現だが、一目置かれる国。米国のような大国を志向するのではなく、さはさりながら存在感があり、新たな価値の創出ができる国。
	<b>山本朋広</b> 自民党	(21)	今のままの日本で不足はない。路線としては平和国家。世界から信頼され、国際平和に貢献できる国を目指す。
	<b>松本大輔</b> 民主党	(22)	あらゆる人にチャンスが開かれている社会。一人ひとりが生き甲斐を持てるように政治がバックアップすれば、国としていい状態になれると思う。
	<b>三日月大造</b> 民主党	(23)	国益よりも地球益あるいは人類益、人間益にかなうた行動をすること。日本がそういう面で役割を果たせば、米国に足りないところを補えると思う。



小野晋也



川条志嘉

……取材拒否